

国東市と立命館アジア太平洋大学(APU)が「友好交流に関する協定」を調印

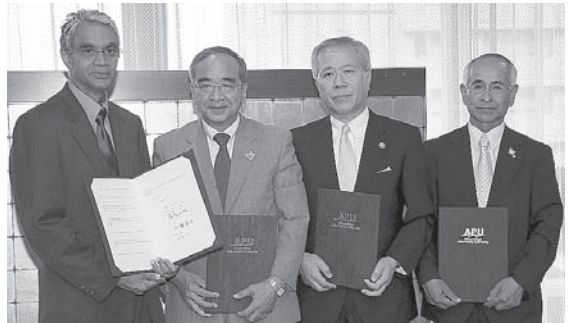
国東市とAPU（立命館アジア太平洋大学）が「友好交流に関する協定」を締結しました。

この協定は、地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材を育成することを目的として、相互の友好的な交流を推進することを目指しています。

6月19日（木）、県庁で行われた調印式では、広瀬勝貞大分県知事、諸富忠市議会議長の立会いのもと野田侃生市長とモンテカセム学長が協定書に調印しました。

野田市長は「この友好交流協定の締結は、国東市の持続的な発展と、地域レベルでの国際交流、さらには次代を担う小中学生の外国語教育等に大いに役立つものであり、これまで以上の友好的な交流とそれぞれの発展へとつなげていきたい」とあいさつしました。

今後は、小・中学校でのAPU学生による国際交流、英語授業サポート活動や、市内の伝統行事、まつりへの参加による地域との草の根交流等に取り組む予定です。



▲調印後記念撮影する（左から）カセム学長、広瀬知事、野田市長、諸富議長

小学生の教育に役立てて 田原幸子さんが市に300万円を寄付

国東町浜崎の田原幸子さん（84）が6月2日（月）に市役所を訪れ、「小学生の教育に役立ててください。」と野田侃生市長に300万円を手渡しました。

田原さんは、昭和16年に武蔵国民学校の訓導から昭和56年に国東小学校を退職するまで40年間教諭を務められました。

野田市長は「ありがとうございます。子どもたちのために大切にに使わせていただきます。」とお礼を述べました。



▲寄付を手渡す田原さん（左）

文化財の防火・防犯の徹底について（お願い）

今年に入り、大阪府吉志部神社本殿の不審火や京都市の長樂寺木造立像（いずれも国重要文化財）の火災などが相次ぎ、文化財保護の観点から誠に憂慮すべき事故が起っています。文化財や文化財収蔵施設周辺には特に火気を発生する施設・器具を設置したりしないよう心がけてください。

また、近頃骨董店に石造物等が陳列されていることが多く見受けられるようです。防犯面において、文化財の定期的な巡回や異常の有無の確認などを行ってください。

文化財の所有者や管理者は日頃から教育委員会文化財課、地元警察、消防など関係機関との連携を図り、地域の方々の協力のもと防火、防犯に努めるようにしてください。

国東市教育委員会 文化財課

幼稚園児落下事故についてのお詫び

この度、国東市立旭日幼稚園におきまして園児が遊具から落下し、重傷を負うという痛ましい事故が発生いたしました。ご本人並びにご家族の方々に心よりお詫び申し上げます。また市民の皆様方に対しましても、多大なるご心配をおかけし、大変申し訳なく重ねてお詫び申し上げます。

今後は二度とこのような事故が起きることのないよう、事故原因の調査と職員の危機管理意識の徹底を図り、再発防止に取り組んでいく覚悟があります。

なお、関係者の処分につきましては、現在事故原因を検証中でありますので、判明次第早急に皆様方にお知らせいたします。

国東市教育委員会
教育長 吉井孝光